

池田修三賞木版画コンクール実施計画



【ねらい】

池田修三は秋田県にかほ市象潟町出身の木版画家です。子どもたちの情景を中心に郷愁あふれる作品を制作し、多くの人々を魅了してきました。また、池田修三作品は、地元象潟町において、結婚祝い、新築祝い、退職記念などで贈られ、人々の心を結びつけるとともに、暮らしの中に木版画を定着させてきました。

木版画家・池田修三の業績を顕彰するとともに、この木版画文化を継承し、にかほ市を木版画の街として発信していくために、にかほ市内の子どもたちの木版画コンクールを開催します。

応募いただいた作品は、審査により優秀作品を決定し、入賞者には賞状と副賞を授与します。また入選作品は象潟公会堂で開催する池田修三木版画展で展示し、発表と公開を行います。

【募集内容】

対 象 にかほ市内の小学校5、6年生 ※5年生192人、6年生206人 計398人

募 集 木版画。テーマは自由。 学校単位で応募してもらいます。

※現在象潟小学校5年生が「彫り進み版画」を授業で学んでいます。

期 間 10月上旬締切。夏休みの作品でも可。

審査員 尾崎カズミ氏（木版画家・兵庫県在住）ほか

発 表 公会堂で秋に開催する池田修三木版画展で入選作品を展示して発表。

賞 特選3人、秀逸10人、佳作20人。賞状と副賞を授与

主 催 にかほ市 にかほ市教育委員会

その他 最初はにかほ市内としますが状況を見て、全県、全国と広げることを検討。

■課 題

◇版画の指導をどうするか。ことし9月に木版画家の尾崎カズミさんが象潟小学校3クラスに「彫り進み版画」を指導したが、市内の全小学校で指導するのは不可能。担任の先生方の指導となる。

◇版画制作の時間が足りない。今回図工の時間に尾崎氏や担任の先生の指導で取り組んだが完成まで1カ月以上かかっている。2学期開始早々、版画の授業を行う必要がある。

◇「彫り進み版画」を行うか、授業で行う時期を市内の学校で統一しておく必要がある。

◇必ずしも「彫り進み版画」でなく、モノクロ作品等を含め木版画全般を対象とする。

※「彫り進み版画」とは

彫っては刷り、また彫っては刷りを2～3回繰り返すもので、残したい色の部分を彫っていかなければならない、ちょっと頭を使う難しい作品づくりである。講師からローラーではなく、手刷毛（てばけ）を使って版木に絵の具を塗る技法にも挑戦し完成させた。その作品は「まちびと美術館」主会場の公会堂で展示中（10月27日～11月11日）。

